

憲法擁護
核兵器廃絶
狭山闘争勝利

- 2009年6月 月1回発行 87号
- 発行所：東京都港区芝浦3丁目2番22田町交通ビル
東京平和センター
- 発行人：関 久 TEL・FAX 03-5443-4110

東京平和運動センター
ニュース



[沖縄平和行進・三多摩平和運動センター]

目	次
第21回定期総会報告	2
活動報告	2
活動日誌	6
今後の日程	7
民主主義の原点・光州	7
総会宣言	10
北朝鮮核実験に抗議する声明	10
核兵器廃絶100万人署名のお願い	11

第 21 回東京平和運動センター定期総会成功裏に終了！ 新議長に本橋益男氏が就任

5月25日、午後3時から東京平和運動センター第21回定期総会が行われました。若林副議長の司会で始まり森本副議長を議長に選任しました。座光寺議長の主催者挨拶では、「この1年、原子力空母横須賀母港化反対闘争に多くの団体や会員の協力により、1万人集会が1万5千人集会に大きく拡大したことや東京としての独自の取組が功を奏したこと。また、この1年常任幹事会を2ヶ月に1回の目標に近づけたことなどを挙げ、さらに今年の秋の10・3エネルギー政策の転換を求める全国集会に結集しよう」と呼びかけました。

来賓としてフォーラム平和・人権・環境の福山事務局長、神奈川平和運動センター事務局長・関東ブロック連絡会議加藤事務局長、原子力資料情報室伴共同代表の3名が、祝辞と横須賀の闘いへのお礼、8月下旬の「原発スタディー・ツアー」の参加呼びかけを受けました。また、埼玉県、群馬県、山梨県、栃木県、茨城の平和運動センターからメッセージが届きました。

議案の報告、決算、会計監査、活動方針、予算、規約の一部改正、総会宣言の採択、団結ガンバローで閉会しました。活動方針では、東京大空襲の国の補償を求めた裁判への取組強化の要請とグアム協定、海賊新法への取組強化と沖縄辺野古の新基地建設反対闘争の取組強化など補強意見が出されました。2009年度東京平和運動センター新役員は以下の通り選任されました。

議長	本橋 益男	自治労東京
副議長	若林 克俊	三多摩
	白田 正好	私鉄関東地連
	田中 瑞穂	個人会員代表
事務局長	関 久	東交

活動日誌

■「施行62周年憲法記念日集会」

5月3日、平和フォーラムは「施行62周年憲法記念日集会」を700名の参加者のもと日本教育会館ホールで開催しました。一昨年5月に安倍首相(当時)のもとで強行成立させた「改憲手続法」は来年5月に施行されます。当初、自民党が目論んだ早ければ2011年にも改憲案発議という政治日程は困難となりましたが、自公政権は首相をたらい回しし延命を

事務局次長	出田 光雄	三多摩
常任幹事	丁子谷 卓	自治労東京
	長島 和夫	東交
	川角 恒	東京教組
	小林 和彦	全農林関東・東京
	山下 晴樹	全自交東京
	大塚 優子	I女性会議
	星 逸郎	社青同東京地本
	長谷川三郎	部落解放同盟都連
	岩崎 好道	全水道・東水労
	石上 浩	国労東京地本
	細田 通	自治労東京
幹事	常任幹事団体以外の加盟団体各1名	
会計監査	大森 直史	東京一般労組
	松田 隆弘	日放労技術系列
相談役	本郷 真一	元議長



[本橋新議長、左本郷相談役、退任の森本副議長]

◆三多摩平和運動センター定期総会は5月26日に開催され、活動方針など承認されました。役員は、議長 若林克俊(自治労)、副議長 畠山晃栄(国労)、福泉勉(西東京バス)、事務局長出田光雄

図りながら、依然として「戦争する国づくり」をすすめています。しかも、新自由主義路線によるセーフティネットの崩壊が進み、経済危機のなかで私たちの暮らしを脅かしています。他方で、5月21日からの裁判員制度始動や小沢民主党党首周辺をめぐる捜査など、司法や検察捜査の動きも焦点です。憲法を具体的に生かしていくために、「政権交代・生存

権・司法をめぐる憲法を語る」をテーマに集会は行われました。集会では、平和フォーラム代表の江橋崇法政大学教授の主催者あいさつと講演「政権交代選挙と憲法政治の可能性」、鴨桃代全国ユニオン会長の講演「非正規雇用と生存権」、ジャーナリストの魚住昭さんの講演「司法制度と検察捜査」、沖縄から平和運動センター事務局長の山城博治さんの報告とスピーチが行われました。



〔5・3憲法集会、会場に700名〕

「司法制度と検察捜査」 ジャーナリスト魚住 昭さんは、①はじめに。小沢第一秘書の大久保氏が政治資金規正法違反は形式犯。裁判で有罪になっても罰金程度。戦後の検察の歴史にかつてなかった露骨な政治介入 ②戦前の刑事訴訟法では「検察官犯罪ありと思料するときは犯人及び証拠を捜査すべし」

警察官は検察官の「補佐としてその指揮を受け一捜査すべし」と規定。つまり警察官は検事の手足と定められていた。それでも警察の予算と人事権は内務省が握っていたからちゃんということ聞かない ③敗戦後、検察は警察の捜査部門だけを切り離して検察直属の組織にしようとした。ところがGHQが検察の権限が強大化するのを許さなかった。検察はGHQにかけあった。その結果、新しい刑事訴訟法191条で検察に「必要と認めるときは自ら捜査することができる」という規定を辛うじて勝ち取った ④191条を足がかりにして昭和24年（1949年）5月に東京地検に特捜部が発足。検察も自民党の腐敗ばかり摘発すると社会党や共産党政権になってしまう、すると検察という官僚組織自体が無事ですまなくなる。しかしまったく事件を摘発しないと検察組織の存在感もなくなり、警察と裁判所の谷間に埋もれてしまうというジレンマ。 ⑤昭和51年（1976年）にロッキード事件がおきる。予想外だったのは田中角栄が逮捕・起訴された後も失脚せずに政界の主導権を握り続けたこと。ロッキード裁判が検察対田中派の対決の場になり、昭和51年（1976年）

から61年（1986年）まで10年間はまったくといっていいほど政界汚職の摘発はなし。 ⑥昭和の末期に田中派の分裂、角栄が倒れて竹下派が誕生。少し遅れてソ連が崩壊して東西冷戦構造が崩壊。検察にとって最大の敵だった田中派が解体した、対田中派戦争は事実上ここで終わる。冷戦構造の崩壊で検察にとってのジレンマもなくなる。リクルート事件をはじめいろんな事件を毎年のように手がけるようになる。 ⑦1992年の佐川急便事件で金丸副総裁への5億円ヤミ献金事件。20万円の罰金で決着した。世論の猛反発。検察最大の危機に見舞われる。 ⑧ところがその翌年3月、金丸巨額脱税事件で金丸を逮捕。検察不信は一挙に解消されてお釣りがきた。非自民・細川政権の成立。自民党の単独支配の終わり。検察と政治の力関係の逆転。関係が検察優位に。検察の統治者意識・主役意識がこの辺から表面に ⑨捜査手法の変化。金丸脱税事件以後は政治家の逮捕が相次ぐ。在宅起訴路線は消えてなくなった。もうやりたい放題になった。 ⑩検察が政治より比較的優位に立ちながら、国家の政策に同調あるいは国策をリードする形に徐々に変わっていく ⑪その転換の節目となったのが、不良債権処理問題。典型的な国策捜査。不良債権処理という国策を遂行するための捜査が横行 ⑫ムネオ事件。小泉政権の新自由主義・構造改革路線を推し進める上でエポックに。公平配分・ケインズ型の社会民主主義的政治・経済路線から市場原理・ハイエク型の新自由主義路線への転換。立件のハードルを下げた引っかけ捜査。 ⑬大阪高検の三井環公安部長の逮捕。明らかに口封じのため。マスコミの非難にさらされないのは、ひとえに検察がリクルート事件以後、毎年のように国家的な犯罪を手がけて、マスコミの重要な情報源になっているから。検察は自らの恥部を隠したまま正義の味方を気取ってやりたい放題の捜査をやる。 ⑭2006年1月にライブドア事件の摘発。これもまたひどい捜査。会計処理上の技術的問題であって、間違っているなら行政指導で直させればすむ話。松尾検事総長2002年の就任挨拶で「我が国が規制緩和・事後救済型社会への転換を図る諸改革を推進しているなかで、司法の役割はますます拡大していく」と言って、金融・証券犯罪の摘発強化を宣言。市場介入へ。国家の政策をリードするのはわれわれだという意識 ⑮戦後の政界との共存時代、そして対決時代、そして政治を凌駕して優位にたち、さらには市場にまで介入して国策を主導していく検察の増長の歴史。そのうえで今回の小沢事件がある。麻生政権の指示で検察が民主党たたきに出たというこ

とではない。検察上層部が政治介入を現場に許した背景にあるものは、小沢に対する霞が関の敵意では。あくまでも霞が関という官僚組織全体の意思、もしくは検察の意思の発動という側面はあったかも。だから国策捜査というより、検察による検察の利害のための捜査です。経済市場も政治も自分たちが統制するという司法官僚のおごりが露骨に出た。日本の将来は危うい、議会制民主主義は危機に瀕している。⑩裁判員制度で検察にブレーキがかけられるか。制度の真の狙いは何か。

※刑事訴訟法191条

①検察官は、必要と認めるときは、自ら犯罪を捜査することができる。

②検察事務官は、検察官の指揮を受け、捜査をしなければならない。

■復帰37年 5・15 平和行進

5月14日、まだ梅雨入りしない沖縄は炎天下、沖縄県立武道館での結団式に始まって、復帰37周年の「沖縄平和行進」は、東・西・南の3コース、15日～17日の三日間かけて貫徹しました。参加者は、総計6538人にのぼりました。

今年は、東コースの出発地を、SACO合意以降13年にわたって新基地建設を阻止続けている辺野古に、西コースの出発地を、本部の自衛隊のP3C送信基地建設を21年にわたって闘い続け2008年7月計画を断念させたその闘争小屋としました。また、南コースは沖縄戦の戦跡をめぐるながら、軍隊と共に自決していった多くの方の「命」を考えていくコースでした。

最終日には「復帰37年 5・15 平和とくらしを守る県民大会」が、宜野湾海浜公園野外劇場に3500人を集めて開催されました。きびしい情勢の中でも、沖縄は熱く元気に燃え上がっていました。司会の山城さんのカー杯のシュプレヒコールに始まり、各方面からの熱い連帯の挨拶、米艦船の入港阻止に立ち上がった石垣島を中心に、八重山地区労の若い皆さんの「沖縄をかえせ」の踊りと大合唱、最後は百数十人に及んだ交通整理のレンジャーも舞台に立ち、再びの大合唱、そして沖縄平和医運動センター崎山嗣幸議長の「団結がんばろう」で終了しました。

東京平和運動センターは16日に羽田を発ち、午後にはひめゆりの塔、摩文仁の平和祈念公園で南部の戦跡と学習をしました。(参加者22名) 三多摩平和運動センターは15日に発ち、15、16日を基地巡り

や戦跡巡りを行いました。(参加者56名) 17日には東京・三多摩とも南コースの浦添市役所から嘉数高台、普天間基地佐真下ゲート、宜野湾海浜公園までの10.3kmを右翼の妨害をはねのけて行進を貫徹しました。



【普天間ゲート、右翼の妨害はねのけて】

復帰37年「平和とくらしを守る5・15県民大会」アピール

復帰から37年。県民が復帰に託した「基地のない平和な沖縄」実現の夢は、日米政府によって踏みにじられ、またさらに、折からの米軍再編によって、新たな基地建設が強行されようとしている。



【県民大会】

1996年のSACO合意から13年、04年に始まった座込み行動からでも、すでに5年の歳月が経過した辺野古の闘いは、去る4月1日、沖縄防衛局が、ずさん極まりない環境影響評価準備書の公告を強行実施したことから、新たな局面を迎えた。沖縄防衛局は、同準備書の公告・縦覧、形だけの住民説明会等を実施した後、来年4月から海域の埋め立て工事を着工すると公言している。また、東村高江のヘリパッド建設工事は、07年7月に始められた住民による座込み行動によって工事着工を阻止され続けた沖縄防衛局が、昨年11月、那覇地方裁判所に、反対派住民を相手どって「通行妨害禁止仮処分命令」申立

てを行い、住民を裁判所に呼びつけ圧力を加えるという暴挙に出てる。

石垣島では、去る4月3日、大浜長照市長が、「断固反対」の強い決意を再三表明するなか、米海軍の掃海艦2隻が石垣港埠頭に強行接岸した。市議会議員団を先頭に多くの市民が石垣港ゲートに結集し、米軍艦船の強行入港に抗議すると共に、米兵の市内への立ち入りに身を挺して阻止行動を展開した。

一方で政府・防衛省は、石垣市民の抗議行動の熱も冷めやらぬ4月28日、陸上自衛隊第1混成団の旅団格上げを行うために、防衛省設置法の改正案を国会に提出するとともに、法案の成立後、与那国・石垣島を含めた先島地域へ自衛隊の配備を検討していることを明らかにした。

宮古・下地島パイロット訓練場を軍事空港化するために、米軍や自衛隊が画策し続けていることは衆知のことであり、米軍再編を軸とする、沖縄の軍事基地の再編計画が、「基地の整理縮小」や「県民の負担軽減」を目的とするものでないことは最早誰の目にも明らかである。

他方で、嘉手納基地や普天間基地、ホワイトビーチ、またキャンプ・ハンセンやキャンプ・シュワブ、北部ゲリラ訓練場など主要な米軍基地での軍事訓練は、イラクやアフガニスタン情勢の泥沼化を受けて、連日、大掛かりに、そして実践さながらに実施されている。航空基地の爆音禍、ホワイトビーチの放射能漏れ事故、射撃場からの流弾事故、山林火災等々米軍基地からの被害はただならぬ状況下であり、今や、地域住民の生活は破壊の危機に瀕していると言わねばならない。

また、米兵が関係する、強盗・傷害、婦女子への暴行等の凶悪事件も後を絶たず、米軍犯罪の温床となっている日米地位協定の改正に踏み出そうとしない日本政府の無責任外交と相まって、今や、県民の怒りは頂点に達している。

このような米軍・自衛隊基地を取り巻く緊迫した情勢下で、私たちは、今回32回目を数える『5・15平和行進』を実施した。沖縄本島3コース、宮古、八重山コースを含め計5コースで、3日間、力強い行進を展開した。政府の米国追従と差別的な沖縄施策によって押し付けられる不条理を厳しく告発し、そして各地で、日米両政府に県民が一丸となって闘う決意を交換しあう実り多い行進となった。



〔嘉数高台（普天間基地）午後の出発式〕

また、今回の行進にも全国各地から1500人余の県外参加者があり、随所で沖縄側との交流、また全国交流を展開し、反戦平和運動の創造を誓い合った。そして、この平和行進を盛り上げる大きな原動力となった。

私たちは、今年の5・15平和行進を締めくくるこの県民大会において、平和行進と本大会の成功とともに確認しあうとともに、引き続き、日米両政府によって進められる米軍再編、それによってもたらされる、沖縄ならびに全国の米軍基地の強化・拡大に反対することを表明する。さらには、続発する米兵による凶悪犯罪を糾弾し、日米両政府に対し米軍犯罪の温床となっている日米地位協定の抜本的改正を強く要求する。そしてまた、相次ぐ自衛隊の海外派兵の強行や集団的自衛権行使の解釈改憲等によって戦争への道に踏み出そうとする政府の戦争政策に抗し、わが国とアジア近隣諸国、そして世界の平和のために闘いぬく決意であることを表明する。以上アピールする。

2009年5月17日

復帰37年、平和とくらしを守る5・15県民大会

■「狭山事件の再審を求める市民集会」

5月22日午後2時から代々木公園B地区野外ステージで狭山事件の再審を求める市民集会が開催されました。「無実の叫び46年—東京高裁はただちに事実調べを!」のサブスローガンを掲げて集会は始まり、組坂繁之(部落解放同盟中央本部委員長)開会あいさつ、各政党あいさつ、石川一雄(再審請求人)・石川早智子、弁護団報告、基調提案、富山(氷見)えん罪事件で国賠を提訴した柳原浩さんからのアピール、集会アピールを採択し、宮下公園まで渋谷駅前を通過してデモ行進をしました。

集会アピール

石川一雄さんが無実を叫びつづけて46年もの歳月が経過しました。石川さんは46年前の5月23日に突然、別件で逮捕され、警察の代用監獄で長期・長時間におよぶ取調べを受けて、ウソの自白を強要され、女子高校生殺害の冤罪(えんざい)におとしいられたのです。石川さんと弁護団が、東京高裁に第3次再審請求を申し立てて3年、今日、弁護団は、石川さんの無実を証明するあらたな証拠を東京高裁に提出しました。元警察鑑識課員や万年筆の専門家による鑑定書は、狭山事件最大の物証である脅迫状・封筒が石川さんの家から「発見」された万年筆で訂正されたのではないことを明らかにしました。石川さんが被害者の万年筆を奪って脅迫状を訂正し、その万年筆を自宅へ持ち帰り、カモイに置いていたものが発見されたという有罪判決の認定が根底からくずれたのです。東京高裁は、ただちに弁護団が求める鑑定人尋問などの事実調べをおこない、狭山事件の再審を開始すべきです。

狭山事件では、東京高裁の有罪判決いらい34年以上も、鑑定人の尋問といった事実調べが一度もおこなわれていません。一方、布川事件では東京高裁が鑑定人尋問をおこない再審を開始しました。足利事件では、東京高裁がDNA型の再鑑定をおこなったところ、犯人のDNAと一致しないという鑑定結果が出て注目されています。富山冤罪事件では十分な証拠調べと証拠開示がおこなわれなまま、誤った有罪判決が出され、無実の柳原さんは服役までさせられました。誤判から無実の人を救済するという再審の理念にたてば、事実調べと証拠開示は不可欠です。

この間、鹿児島・志布志事件や富山・氷見事件、痴漢冤罪などの無罪判決があいつぎ、警察の人権を無視した取調べの実態やズサンな証拠による誤判が明らかになりました。冤罪の構造は46年前の狭山事件と同じです。多くの市民が司法への不安と不信を感じています。柳原さんらはえん罪の真相と責任を明らかにする国賠裁判を闘っています。石川さんが

えん罪におとしいられて46年目の日に、おりしも、裁判員制度がスタートしました。市民が司法に参加する意義を生かして、市民常識を裁判に反映させるためにも、えん罪を生まないための司法改革が今こそ問われています。国連の勧告もふまえて、早急に取調べの全過程の録画・録音や弁護側への証拠開示を保障する法律が必要です。そして、えん罪を訴える多くの事件について疑問点を調べ直し、再審を開くべきです。

私たちは、再審・冤罪・国賠を闘う仲間の連帯の輪を広げ、あらゆる冤罪・人権侵害をなくし、司法民主化をめざします。参議院で可決された取調べ可視化法案がすみやかに審議され、一日も早く成立することを求めます。



[決意を新たに石川一雄・早智子さん]

狭山事件は部落差別が生んだ冤罪です。東京高裁には狭山事件の事実調べと再審開始を求める100万筆を超える署名が提出され、東北、北海道をはじめ全国各地で集会があいついで開かれ、狭山事件の再審と司法民主化を求める声が広がっています。東京高裁の門野博・裁判長が、石川さんの46年の無実の叫びと市民の声、弁護団の新証拠を受けとめ、ただちに狭山事件の事実調べ・再審開始をおこなうよう求めます。

5月22日

狭山事件の再審を求める市民集会 参加者一同

活動日誌

主権抗争訪韓

4月29日(水) 連合メーデー(代々木公園・平和フォーラムも出展)

5月2日(土) あんにょんハイサイわくわくコンサート(PM3、上野公園野外ステージ)

5月3日(日) 施行62周年憲法記念日集会(13:

30~日本教育会館大ホール)

5月8日 2009在日朝鮮人歴史・人権週間第2回実行委員会(13:00~総評会館)

5月11日(月) 第42回常任幹事会

5月14~17日「5月15沖繩平和行進」

5月22日(金) 狭山事件の再審を求める市民集会(PM2、代々木公園)

5月23日(土) 核兵器廃絶・平和中央集会
5月25日(月) 東京平和運動センター定期総会
5月26日(火) 三多摩平和運動センター総会

5月31日(日) 在日外国人に地方参政権を! 5・31集会(14:00~銀座ブロッサム)

今後の日程

6月6日(土) 「伊達判決」の今を問う! 日米謀略の情報不開示を抗議する集会(14:00~明治大学駿河台校舎・リバティタワー15階115教室)
6月9日(火) 「9条キャンペーン」プロジェクト会合(16:00~総評会館)
6月12~14日 平和映画祭(代々木オリンピック記念センター)
6月13日(土) 立川集中行進
6月19日(金) 在日朝鮮人歴史・人権週間実行委員会(14:00~総評会館)
6月25日(木) 日朝国交正常化連絡会学習会・会合(18:30~総評会館)
6月30日(火) 原発・原子力施設立地県全国連絡会(14:00~総評会館)

7月3~26日 2009 在日朝鮮人歴史・人権週間
7月12日(日) プルサーマルはいらない九州集会(佐賀・唐津市)
7月18~19日 在日朝鮮人歴史・人権週間東日本集会・フィールドワーク(横須賀)
7月4日(金) 日朝国交正常化連絡会総会・講演会(15:00~日本教育会館)
8月4~6日 原水禁世界大会広島大会(広島)
8月5日(水) 原水禁世界大会国際会議(広島)
8月7~9日 原水禁世界大会長崎大会(長崎)
8月15日(土) 戦争犠牲者追悼・平和を誓う集会(千鳥ヶ淵戦没者墓苑)
8月29~30日 2009 在日朝鮮人歴史・人権週間全国集会(名古屋)

民主主義の原点・光州市 報告 森本 一雄

はじめに

09年5月16日から19日にかけて、原水禁中央、広島・長崎原水禁の代表の皆さんと共にあの軍事政権による大虐殺が行われた光州市を社団法人5・18拘束負傷者会の招きで訪問しました。訪問の目的は、民主・人権・平和を志向し、「歴史の記憶と継承」の運動を強化していく。そのため負傷者会と協約覚え書き(別紙)に調印することになりました。

1、5・18民主闘争は、1980年5月17日、全斗煥(チョン・ドファン)が、前年10月の朴正熙(パクチョンヒ)大統領暗殺意向高まっていた民主化運動弾圧のため「戒厳令」を韓国全土に拡大し、金大中(のちに大統領)等を拘束したのをきっかけに、全国で軍事独裁政権反対、民主化を求めたデモが発し、なかでも光州市では、市民たちが激しいデモを展開した。このため戦車や重火器で武装した2万人の戒厳軍が投入され、翌、18日から27日にかけて軍と市民が衝突し、軍による無差別な発砲により200人以上が死亡し、400人から600人の行方不明者が出る大惨事となった。

2、市民が命をかけて闘った5・18民主闘争は、今年で29年になります。この間、市民の力によって軍事政権の首謀者チョン・ドファンとノ・テウ(盧

泰愚)両大統領は「5・18(光州事件)特別法」により、死刑と無期懲役(のちに減刑)の有罪を勝ち取り、市民の蜂起は軍事政権を打倒し、文民政府を誕生させ50年ぶりに国民が選んだ金大中(キム・デジュン)大統領が選出させるなど大きな成果を上げることになりました。

3、5・18民主闘争は過去の歴史的な民衆闘争を通じて表出された自主・民主統一の伝統を継承しただけでなく、韓国現代史の民主主義発展史に不滅の金字塔を打ち立てた民権闘争として記録されています。



[5・18 拘束負傷者会の皆さんと交流]

4、そのため5月18日は国家記念日として制定し、毎年、遺族、負傷者をはじめ大統領、首相、国会議員、市長、市民らが出席して追悼式が「国立5・18墓地」で開催されています。この地は二度と独裁が根を降ろすことのないようにするという尊厳な歴史教育の場にもなっています。もちろん、民主化運動の犠牲者が眠る墓地は、「民主の聖地」ともいいます。



[当時の軍事法廷]

5、その他、民主化闘争の激戦の現場には、歴史的な史跡として保存するために、自由、民主、正義の生きた教材として

- ・5・18民衆抗争追慕塔、・遺影奉安所、・献樹記念碑、・5・18写真使用展示館
- ・歴史の広場、・5・18自由公園（軍事法廷と営倉の再現）、・5・18記念文化センター、・5・18記念文化館などが建設されています。

6、今回の訪問は、「社団法人5・18拘束負傷者会」による招待でした。東京平和運動センターとしては、戦争絶対反対を目的としてこれまで旧日本軍の戦争犯罪の現場を検証するため、シンガポール(大虐殺)、南京市(大虐殺)、ハルピン(731細菌部隊)などを訪れてきましたが、招待を受けての旅行は初めてでした。3泊4日の訪問でしたが、負傷者会の皆さんには、大変気を使わせたり、お世話になりました。本当にありがとうございました。逮捕・連行・銃撃・拷問を直接経験というか、体験された負傷者の皆さんから驚くべき報告を受けてショックを受けています。

7、ソウル、インチョン(仁川) 空港から光州市まで約400Km、雨中の高速道路を130Km/hの猛スピードで光州市に向かいました。運転をされているのは金(キム)さんです。彼は高校生の時に民主化闘争に参加し、戒厳軍の銃撃で負傷し、気絶状態のまま山中のごみ捨場に捨てられるも息を吹き返し、ふたたび闘争に参加し、今度は逮捕されて、拷問にかけられて現在も後遺症が残っている強者です。5

月17日夜、地元のテレビ局が5・18闘争の特番として放送していた中にも金さんは出ていました。内容は、軍に逮捕され、こん棒で殴りつけられ、拷問を受けた人々の中に、自殺者が40数人出ている実態や拷問による不眠症、精神障害を受けている人々の今日の生活を放映していました。逮捕・拷問など虐待を受けた人々は、数千人いたといわれています。今日、こうした人々のことが最も心配されています。望月洞旧墓地には、3月26日に自殺された人の墓がありましたように、まだ自殺者は続いているのは深刻な問題です。また、負傷者は5・18闘争で逮捕されたということで、就職差別をはじめ社会から疎外されています。

麻薬に手を出したり、酒に溺れるなど、家庭の崩壊にもなっている実態が報告されていました。

8、負傷者の会の皆さんとの交流の中で、驚くべき実態が明らかになっています。

①負傷者を助けるために光州市民が、我々も献血に応じましたが、軍はこうした人々にも無差別に発砲し殺戮を繰り返したということや、病院の医師、小学生すらも犠牲になったということです。

②全南道庁は、民主化運動の本部があった場所ですが、ここで多く市民が犠牲になりました。道庁前の道路には、犠牲になった人々の死体がいっぱいあったと証言されていますが、翌朝にはこの死体がどこに運ばれたのか、いまだに不明だと言っています。

金さんのようにゴミ捨場に捨てられたとか、島に持っていかれたとか、海に捨てられたらしいと云われています。400~600人の不明者の所在が心配されています。



[犠牲者の遺影]

③今日まで41人の自殺者が出ています。うち2人は焼身自殺というむごい実態も報告されています。軍の拷問、こん棒による殴る虐待に抗議してハンガーストライキで死んだ人もいます。

④軍は民主化運動を圧殺するために、殺人や拷問な

どの虐殺を繰り返しました。このことを正当化するために、市民の暴動は国家の転覆、内乱、北朝鮮によるスパイであると決めつけました。

⑤事件から30年経とうとしているのにも関わらず、殺人を指揮した現場の指揮官が誰であったか未だに不明であること。2万人の軍隊を移動させるには、韓国軍の指揮権を持っている米国の関与が責任取られていません。米軍は誰が命令を出したのか。

9、5・18式典には、私たち日本人側5人も出席しました。29年前の5月18日は冬物の服を着るくらい寒い日だったそうですが、今日は空に雲ひとつない快晴で気温も27度の夏日でした。会場に入るにあたって、途中の道路は多数の警察官が配置されて、緊迫感が漂っていました。私たちは受付でパスポートの提示を求められ、すごいことになっているなど思いつつ、前から3列目の席につきました。この席は首相や国会議員のすぐそばということになります。日本的に言ったら総理大臣のすぐ後ろの席に私がいるという配置になります。まず日本では考えられないことです。

10、韓国では、人々の集まりということになると、まずは国旗に敬礼してから始まります。これは、国の主催だけでなく、協約覚え書きの調印式にも司会者の音頭で行われました。日の丸が侵略の象徴であったため、いまだに抵抗している私にとってみれば、オヤと思うことでした。式典には、国旗掲揚、国歌、犠牲者への黙とう、献花、3軍のラップなどの後に、民主化運動の経過報告、首相の挨拶、国会議員による蝶の放蝶などで30分で終わりました。あっという間で終わったため、こんものかなあーと何か不安めいたものが残り、会場に立ちすくんでいました。

11、5・18民主化運動の現地光州市の訪問は、一言で言って「気持の重い」という感じです。200



[5・18拘束負傷者会と原水禁の協約調印式]

人を超える犠牲者、今も続く自殺者、600人の行方不明者、虐待を受けた人々の後遺症など、追悼する建物や記念館ができたものの、本当の意味での解決されていないと思うからです。また、私自身も「民主主義」のために命をかけて闘った経験はありません。日本では戦前、無権利状態の中で民主主義が否定され、朝鮮半島、中国、東南アジアに侵略する中で戦争に突入し、大きな過ちを犯しています。光州市民の皆さんは、軍が大統領を暗殺し、軍事独裁政権に反対し、民主主義のために立ち上がりました。それは即「死」という非常に厳しい選択となりました。大きな犠牲をだしましたが、軍事独裁政権を打倒し、軍から民へと政権を移行させることになりました。平和と民主主義は、人間が生きていく上でも欠かすことができないかけがえのないものです。

12、かつて、日本は35年間も韓国を植民地支配をしたのにも関わらず、その歴史的事実を否定する団体や政治家、軍部がいることに恥ずかしい限りです。そのように日本国内にあって韓国国民を逆なでするような状況にあっても負傷者の会の皆さんは暖かく対応していただきありがとうございます。

13、終わりに、5・18自由公園で私たちは韓国の女子中学生数人と一緒に見学しました。彼女からぜひ一緒に写真を撮っていいですかと流暢な日本語で要請されびっくりしました。どうして日本語を覚えたのですかと私は質問をしました。返答は、「日本が好きですから」と、この言葉に本当にうれしさがこみあげてきました。韓国を侵略し植民地したことに謝罪し、強制連行した人々や従軍慰安婦として犠牲を強要した一人一人に謝罪し償いをし、歴史を正しく教育するなど、戦後64年経っても解決していない課題を一日も早く解決し、朝鮮半島の平和的統一という一大事業に私も積極的に参加していくことを決意して報告とします。



[民主抗争式典会場]

総 会 宣 言 (案)

世界経済はサブプライムローン問題を契機に世界危機が起き、ドル安、原油高、穀物高で世界的不況にあります。また、イラク、アフガニスタン、パレスチナなど各地で侵略戦争と民族・宗教対立などが依然と続き、不安定な社会となっています。また世界各地の内戦や紛争で難民や飢餓が続出し多くの死者が出ています。今年1月に就任したオバマ大統領は、イラクからの部分撤退や核廃絶に取り組む姿勢を見せているものの、他方、アフガニスタンへの増派や日米同盟強化、戦費の肩替わりなどブッシュ政権の政策を引き継ぐ様相もあり、注視する必要があります。

日本経済は、政府の手厚い法人税減税や高額所得者優遇策、低金利政策などで、輸出基幹産業、金融など利益を上げている一方、労働者・国民はリストラや賃金抑制、増税、福祉・医療の切捨てなどで窮乏の状態にあり格差社会が益々強まり、非正規労働者の拡大が大きな社会問題になっています。

さらに、リーマン・ショック以降の大不況で更なる低賃金攻撃や派遣切りなど労働者を「物」扱いする政策を取っています。こうした中で一刻も早く麻生自公政権を打倒しなければなりません。

自公政権は衆議院の3分の2の議席を行使して、憲法に抵触する重要法案を強行採決しています。政府はイラクに航空自衛隊や陸上自衛隊を派兵し、現在でもインド洋での給油活動や海賊対策の名のもとに、海上自衛隊の護衛艦がソマリア沖で活動し、憲法で禁止されている戦争行為や集団的自衛権の行使をしようとしています。さらに今月中旬には哨戒機2機とその守備に当たると的自衛権の行使をしようとしています。さらに今月中旬には哨戒機2機とその守備に当たるとして陸上自衛隊の即応集団に出動命令が出されました。また、麻生自公政権は沖縄の基地負担軽減を口実にした、在日米軍再編の「グアム協定」の強行採決行い、辺野古への新基地建設とグアム移転費の負担を決めた協定を強行採決しました。

私たちは、政府の進める規制緩和、行革、市場原理主義の「小さな政府論」に対し、福祉や教育の充実、公正な社会の建設に向けた運動が求められています。また、再び戦争の道を突き進まぬよう日米同盟強化・自衛隊海外派兵に反対し、前文や9条の憲法理念の実現をめざし、憲法改悪に反対し、総選挙

で自公政権を打倒するため、共にがんばることを宣言します。

2009年5月25日
東京平和運動センター第21回定期総会

朝鮮民主主義人民共和国の核実験実施に 強く抗議する

朝鮮民主主義人民共和国政府は（以下北朝鮮）は、5月25日、「再度の地下核実験を成功裡に実施した」と発表しました。

私たちは、この間2006年10月9日の北朝鮮の核実験に対して強く抗議をしてきました。そのことは、私たちが「人類と核は共存できない」とする立場から「あらゆる国の核実験・核兵器」に反対し、平和と核軍縮をめざしてきたからです。また北朝鮮のこの間の一連の核兵器にかかわる動きに対しては、NPT体制の強化・確立を基本に対応してきました。

こうした立場から、今回の北朝鮮の核実験については、東北アジアの非核と安全保障を揺るがすもので、世界的な核軍縮の流れに逆行するものであり、断じて許す事はできません。あらためて強く抗議します。今回の核実験は、北朝鮮が国際社会でますます孤立化することになるだけです。

私たちは、北朝鮮に対し、今回の核実験に対し強く抗議すると同時に、直ちに実験に関する施設の放棄を求めます。いかなる理由があれ、いかなる国であれ、核実験の準備、実験、そして核兵器保有は許されるものではありません。

私たちは、今ほど対話と協議が求められているときはないと認識します。2002年の日朝ピョンヤン宣言、2005年の6ヵ国共同声明に基づき、この間の6ヵ国協議の実績を踏まえ、関係各国は引き続き六ヵ国協議を誠実に進めることを求めるものです。さらに北朝鮮が、国際的な核軍縮の枠組みであるNPTへ早期に復帰し、国際的な信頼を回復するよう要請します。

東北アジアに非核・平和の確立、日朝国交正常化への道をつかかなものにする必要があります。私たちは、そのため取り組みを引き続き強化する決意です。

2009年5月25日
フォーラム平和・人権・環境
原水爆禁止国民会議

核兵器廃絶1000万署名にご協力を！

核兵器廃絶に向けて1000万署名スタート集会を開催した。集会は、神田香織さんによる講談「はだしのゲン」をオープニングとして開会した集会は、冒頭、主催者を代表して高木連合会長が「核兵器の惨状を知らない人が世界にまだ多い。来年のNPT再検討会議は、必ず前進させなければならない。3団体も1000万署名をはじめとした世論づくりに貢献していく。また、連合としても、ITU Cに署名や平和市長会議との連携を提起しており、さらに運動をすすめていきたい。」と挨拶した。続いて平和市長会議会長である秋葉忠利広島市長から「平和市長会議の取り組み」と題してパワーポイントを使い報告を受けた。秋葉市長は、核兵器廃絶には市民参加が不可欠であると述べ、①核兵器廃絶に向けた取り組みに自信を持つ、②署名運動を行う、③平和市長会議加盟都市の増加をめざす、ことを呼びかけた。また、黒澤満大阪女学院大学教授からは「核軍縮の歴史と展望」と題した講演をいただいた。黒澤教授は、冷戦時代の後、核兵器が削減されたものの、アメリカのブッシュ政権時代にその動きが止まったことを指摘。オバマ政権に変わったことにより、核軍縮、核廃絶の展望が見えてきたと述べた。

さらに、被爆者からの訴えとして、下平作江長崎県原爆遺族会会長が10歳で被爆し、孤児となった経験を語った。下平会長は「こんな思いをするのは、私たちが最後にしてください」と強く訴えた。川野浩一原水禁議長が「3団体で核兵器廃絶を求める1000万署名に取り組んでいこう。」と閉会にあたって挨拶、団結がんばろうで集会は終了した。

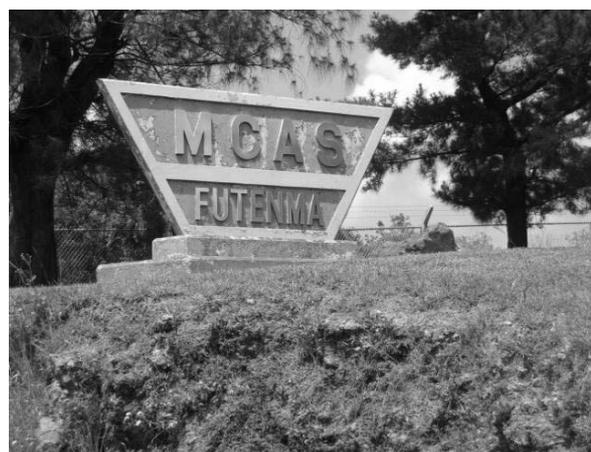
皆様のご協力をお願いします。（連絡先：東京平和運動センター）



[ひめゆり第1外科壕]



[嘉数高台後ろに普天間基地]



8月4日からの第64回原水禁広島・長崎大

会の募集を始めます。詳しくはセンターまで